



## NPO PTPL “ともいき” 便り No.177

令和元年（2019年）8月23日発行

### ■処暑（しよしよ） 令和元年8月23日から9月7日までの節気

今、我が家の周りでもセミの鳴き声がよく聞こえてきます。7月が比較的気温が低かったからでしょうか。羽化の時期が昨年より少し遅いのかもかもしれません。先日6歳の孫と公園に行ったら木の幹の手の届くところにアブラゼミを見つけました。抜き足差し足で近づいて、パッと手で捕まえました。「セミさん、ぼんやりしていたから、捕まっちゃったんだね」と言って孫にセミを持たせてあげようとしたら、「ぼく、持てない」。仕方がないので、セミを放してあげました。セミは嬉しそうに飛んでいきました。8月23日から、二十四節気は「処暑」の節気に入ります。暑さがようやく峠を越えて、一日一日秋の気配が忍びこんでくる頃です。セミの声もだんだんと秋の虫の声に交代していくことでしょう。

8月24日はドレッシングの日です。マヨネーズ、ドレッシングなどの製造、販売を手がけるケンコーマヨネーズ株式会社が制定しました。ドレッシングの新しい利用方法をアピールするのが目的です。さて日付ですが、なぜ8月24日かわかりますか。ドレッシングは野菜の上にかけて使うことが多いので、週間カレンダーの「野菜の日」の8月31日の真上にくる、24日に決めたのだそうです。すぐにカレンダーで確認しました。ほんとに24日は31日の真上です。考えましたね。8月もう終わりですが、夏野菜にドレッシングをかけていただくのもいいですね。

8月30日（金）は旧暦の8月1日で、旧八朔の日です。「この日、農家では新穀を供えたりしてその年の豊作を祈ります。田の実、すなわち稲の実りを予祝する意味で「田実の節(たのむのせつ)」「田実の祝い」などと呼ばれます」（ともいき暦より）鎌倉時代には米を「田の実」として「頼み」にかけて、頼みごとを叶えてくれた人に新米を贈る習慣もあったそうです。いただいた人にとっても嬉しい贈り物ですね。「八朔」は農耕行事として残っていて各地の神社で五穀豊

穰を祈る八朔祭をおこなうところも多いようです。皆さんのお近くで「八朔祭」が行われる神社があったらぜひ教えていただきたいです。

そして9月1日は「防災の日」。1923年(大正12年)9月1日午前11時58分、マグニチュード7.9の大地震が関東地方を襲い、東京では140、150ヵ所から火事が起き、水も電気も止まって大混乱の末、約23万人の死傷者が出て、東京が壊滅状態になりました。この関東大震災を教訓に、不測の事態に備えるために1960年に「防災の日」とされました。（「ともいき暦」より）我が家も備蓄品のチェックを防災の日前後に見直すようにしています。以前、ともいき便りにも書きましたが、祖母は関東大震災を体験しました。ちょうど台所でおはぎを作っていたそうです。すごい揺れですぐに机の下に隠れ、祖母は「何があってもまずは腹ごしらえ」と考えて机の下でおはぎをいくつも食べたそうです。私も祖母を見習って災害が起きても「腹ごしらえ」を第一に冷静沈着に行動したいと思います。いざとなったら、できるかどうかわかりませんが。

9月1日は立春から210日目の「二百十日」でもあります。10日後の「二百二十日」とともに、どちらも台風が来襲する確率が高く、稲の開花時期にあたるので農家にとっては厄日とされています。気象庁のホームページによると、台風の上陸数が多い年の1位は2004年で10。2位は2016年の6。3位は2018年の5。（統計期間は1951～2018）今年はどうでしょう。無事収穫できますようにと願うばかりです。

そろそろ夏の疲れが出るころです。皆さま、くれぐれもご自愛ください。少し早めのお知らせですが、今年のお月見は9月13日（金）です。お月様、見られるといいですね。

すとうあさえ（NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 会員）

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」

●二十四節気七十二候という季節感を改めて考える。

連日の酷暑、ほとんど参っていますが、皆さんはいかがお過ごしですか？

暑さ厳しい折りですが、季節は着実に秋に向かっていきます。

日本は明確な四季がありますが、昔の人たちは、さらに、一節気は約 15 日。一年、二十四節気とし、その一節気を三つに分けて、一候・二候・三候とし、一候を約 5 日間と決め、一年、二十四節気七十二候の暦をつくりました。

考えてみると、一候 5 日間を季節の最小単位として、それを敏感に感じ取っていたということです。

昔の人たちは、自然との豊かなコミュニケーションをも持ち、自然への思いやり・いたわり・やさしさの溢れた生活をしていたのです。五感の働きは冴え、感受性も豊かで七十二候の 1 候ずつを読んでもわかるように、動物・植物・水の変化の季節観測にも、とても敏感であったということです。

一方、今の時代、無季化・自然は遠のき環境の人工化は、ますます進み、今を生きるわれわれの五感はやがて衰え、季節の移ろい、旬の移ろいにも敏感でなくなってきました。

明らかに、人間は自然の一部です。人と自然の豊かなコミュニケーションのある生活、自然への思いやり・いたわり・やさしさの溢れた生活を心がけることによって、人と人、人と自然の豊かなコミュニケーション、人への、自然への思いやり・いたわり・やさしさも生まれてくるのです。

一日一回、ともいき暦を。

<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2019/>

## 日本 2019 ジャパネスク

日本の歴史を学ぼう。

「もっと知りたい。これが日本、これも日本。」

勝田 祥三 (NPOPTPL 理事長)

■事務局便り

- うだるような厳しい暑さが連日続いています。皆さんお元気にお過ごしでしょうか。月遅れのお盆も終わり、夏の風物詩でもある高校野球もいよいよ決勝戦のみとなりました。（この原稿を書いている時点ですが・・・）高校球児たちには暑さに負けず、郷土の声援と期待を背負って頑張ってもらいたいですね。

まだまだ酷暑の日々が続きます。皆さま、お身体ご自愛ください。

- 日本というものを基盤において活動する NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/>

「タピラス」：<http://www.tapirus.tv/>

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと富士山探し」

<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

●会員募集のご案内

NPO 活動（ジャパネスク運動）を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしく申し上げます。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

電話：03-6432-5911 FAX：03-6432-5912 Email：info@ptpl.or.jp